

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	川崎病におけるビタミンD欠乏と血管炎マーカーの検討		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認から2020年3月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院に入院した川崎病の患者さん、発熱を伴う感染症の患者さん、発熱を伴わない非炎症疾患の患者さん		
④ 対象期間	2006年1月1日から2016年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	小児科		
⑦ 研究責任者	氏名	水谷 誠	所属 小児科
⑧ 使用する試料・情報等	<p>診療の際に採取された血液検体を使用し、血清25(OH)D濃度、血清ビタミンD結合蛋白濃度、血清Syndecan-1、血清Hyaluronan酸濃度を測定します。</p> <p>また、電子カルテより以下の情報を収集します。</p> <p>(生年月、月齢、性別、地域、栄養方法、通園の有無、群馬スコア、久留米スコア、大阪スコア、心臓超音波検査；冠動脈障害の有無、心電図検査；虚血性変化の有無、末梢血算：白血球数、好中球分画、リンパ球分画、単球分画、ヘモグロビン、血小板、血液生化学：総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、Na、Bun、Cre、CRP、PCT、BNP、NT-proBNP、可溶性IL2 receptor、IgG、尿検査：尿中β2MG、尿中クレアチニン)</p>		
⑨ 研究の概要	<p>近年、川崎病の罹患率が増加しており、何らかの環境因子の影響が考えられます。本研究により、ビタミンD欠乏による川崎病血管炎への関係が証明されれば、ビタミン補充療法を行うことでの治療不応率減少や、ビタミンD欠乏を予防的に啓発することにより罹患率を低下させる可能性があります。</p> <p>具体的には⑧にあげた情報や血液検体の測定結果を用いて、川崎病の血管炎マーカーについて検討します。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018年3月28日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		

⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	日本学術振興会の科学研究費助成事業の助成費		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学大学院医学系研究科 小児科学分野 鈴木 康夫		
	電話	0836-22-2258	FAX 0836-22-2257